

| | |
|-----------------------------------|--|
| 会議名称 | 平成23年度 タウンミーティング |
| 日時及び場所 | 24年2月24日（金）於：鉢形財産区会館 午後1時30分～午後3時00分 |
| 出席者 | 町側：町長、企画課長、生活環境課長、企業誘致推進課長、都市計画課長ほか 一般参加者：7名 |
| <p>企画課長</p> <p>町長</p> <p>企画課長</p> | <p>1 開会</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>東日本大震災以来復興復旧とともに、現在は、エネルギー政策が大きな課題となっているが、いままでの既存の制度設計ではダメだということで、いっきに動かざるを得ない状況を迎えている。世界では、10年前には考えられなかったことが、様々な事象として今問題になっている。そうした中でこれからの日本社会は、どうあったらよいか、戦後の右肩上がりの経済発展・人口増加が終った中で、幸せな人生を歩むということについて、モデルが無くなってしまった。</p> <p>若い世代では雇用がない。社会が、企業が、人間として育むということを抱えられなくなってきている。子どもたちについては、大事に育てられても社会に出てみるとどうもしっかりと生きることが出来きれていない。どれをとっても、なかなか展望が開けないという状況である。</p> <p>そうした中、今回のテーマはエコタウンであるが、寄居町としてこの後概略を説明するが、その切り口の中で寄居町の様々な特性を、また、寄居町の住民の皆様の様々なマンパワーとしての能力を十分受け止めさせていただく中で、新しい寄居町の実質的な成長、町民の皆さんの福祉、幸福が戻っていくような、そういう中において、県北全体がホンダの新工場の稼動とともに発展をリードしていけるような、そんな寄居町作りの、切り口として、エコタウンが推進できたら良いと感じている。色々な変化が様々な局面において出ている。私としては、様々な形で垣根を取り払って、本当に立場を超えて次の状況を満たせるようなそんなまちづくりをしたいと思っている。今日は、貴重な時間を頂いたが、ぜひとも、この成果がこれからの新しいまちづくりに活かされるよう、また活かしたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。</p> <p>3 職員紹介</p> <p>4 進行方法の説明</p> <p>本日は、ご案内のとおり「エコタウンの推進について」というテーマについて、タウンミーティングを行う。はじめに、資料に基づいて「エコタウンの基本的な考え方」を担当課から説明をする。この後、懇談ということで、テーマに沿った意見交換に入る。今回は少人数なので、ざっくばらんな話し合いが出来ればと考えている。終了時間については、3時を予定しているので進行に協力をお願いします。本日のタウンミーティングの会議録については、名前など個人情報伏せて、他の内容は公開とするため、録音をすることをご了承いただきたく願います。</p> |

| | |
|----------|--|
| | 資料に基づいて、「エコタウンの基本的な考え方」について担当の企業誘致推進課から説明をする。 |
| 企業誘致推進課長 | 5 「エコタウンの基本的な考え方」についての説明 |
| | 6 意見交換 |
| 企画課長 | 意見、質問がありましたら。 |
| 参加者 A さん | 広報を見て応募した。何もわからない状態で参加した。エコタウンとしての考え方はすばらしいものだと先程の説明で理解した。エコタウンはどこに、どの程度のものを考えているのか。 |
| 企業誘致推進課長 | <p>エコタウンというのは、今までの一般的な形は、太陽光パネルを屋根に設置して東京電力が電気を買取るといような仕組みであった。しかし設備費が相当かかるといことと、太陽光パネルの耐用年数等の問題がある。</p> <p>しかしそれだけではなく町の考えとしては、工場群は工場群の中でエコファクトリー的なものを推進してもらい、人口増加の一環から、若い人達には新たなニュータウン的なものを整備して、移り住んでもらい定住していただくということが目標である。</p> |
| 参加者 A さん | どこにというわけではなく寄居町全体でのことなのか。 |
| 企業誘致推進課長 | エコタウンだけでなく、照明（庁舎・防犯灯等）をLED化していきたい。初期投資には費用がかかるが2年位でペイできる。一度にというわけにはいかず、計画的に行う。そういう事業を展開して行くために計画の策定も進めている。 |
| 参加者 A さん | 町全体もニュータウンも考えているということか。 |
| 企業誘致推進課長 | <p>民間の協力がないと町だけで進めようとしてもなかなか進まない。</p> <p>たとえば、三ヶ山の埋め立て跡地にメガソーラーを設置するという県の計画も、これから民間企業に提案してもらい、公募するものである。地域がどんなふうに潤うのかも検討課題。全町的にどんな仕組みにするか模索している段階である。</p> |
| 企画課長 | よろしいでしょうか。他の方は。 |
| 参加者 B さん | エネルギーの地産地消について、構想としては町で作った電気で町全体をまかなう構想なのか。ホンダと県と町はどの様なつながりがあるのか。民間がどう関わってくるのかということが見えない。 |
| 企業誘致推進課長 | これまで、電力は東京電力が独占してきたが、現在、他の民間が電力をつくり、 |

| | |
|---|---|
| <p>参加者Bさん</p> <p>企業誘致推進課長</p> <p>企画課長</p> <p>参加者Cさん</p> <p>企画課長</p> <p>参加者Dさん</p> <p>企業誘致推進課長</p> | <p>そこからの電力の購入も出来る。どういう形でその様な物を利用できるかということ を今後検討していきたい。</p> <p>ホンダの電力をどの様に使うかは、ホンダは企業なので基本的には自分の工場で 使う。ホンダには 100%子会社のホンダソルティックという太陽光パネルを作っ ている会社が熊本にある。ホンダ工場の屋根に太陽光パネルが設置されると、他の企 業にも刺激になる。新たな電力が生まれることによって非常時に有効に活用でき る。ニュータウンの中でも、停電のときに真っ暗にならない様に一戸当り 100V の 電力が使えるように出来たらいいなという案も出ている。このような考え方に立っ て検討していきたい。</p> <p>新聞報道では、2千世帯にソーラーを付けるとあったが。</p> <p>具体的な数字はまだ出ていない。</p> <p>よろしいでしょうか。他には。</p> <p>タウンミーティングは、60人の募集でこの少ない参加人数は残念。私は、エコ タウンについて全く知らないで参加した。メガソーラーは県の計画である。3メガ ワットと知っているが、町も出来るだけ5でも6メガワットでも力をいれて欲しい。 太陽光パネルの補助事業とあるが、公共の建物等に独自でパネルを設置したらど うか。個別の屋根に設置するより、学校の屋根に設置して自分のところで使えば税 金を使わなくてすむ。公共的な所から始めたらいいと私は思う。</p> <p>他の方、いかがですか。</p> <p>新聞報道で、寄居町エコタウン構想をいくつか目にしたが、その中でいくつか質 問がある。</p> <p>一つ目は、1月18日に町でエコタウン計画研究会が設置されたとあったがエコ タウン構想の実現に向けてプロジェクトチームが出来たということか。図面にある ようなことが決まっていくということなのか。</p> <p>二つ目は、これまで、東京電力の独占的な電力の供給であったが、今後町の多様 な電力の供給がこれから実現していくことはすばらしいと思う。具体的な移行の中 身が研究会で決められていくのだと思うが、構想の段階で、ぜひその中に町民の意 見反映されるような仕組みを作って欲しい。また、様々な情報を公開して欲しい。</p> <p>埼玉新聞で報道された研究会は、1月17日に開かれた。各企業のノウハウを持 っている方にアドバイスをいただくものである。担当職員も電力には知識がないの で、町も手探りの状況である。専門家の意見を聞きながらエコタウン計画の策定を 進めるために研究会を発足した。このことが新聞等に掲載されたという状況であ る。</p> <p>一般の方の意見等を聞く機会があれば、それは貴重な意見として拝聴する。</p> |
|---|---|

| | |
|-----------------|--|
| | <p>例えば、ホンダが工場の屋根に太陽光パネルを設置する話であるが、7月までには終了する予定。県内の工場としてはパネル一万枚なので最大級のものだと思う。こんな話も研究会の中で出ている。</p> |
| <p>参加者Dさん</p> | <p>わかりました。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Eさん</p> | <p>実現するととても面白いと思う。寄居ブランドが高まるのかなと思う。 電力の100%自活コミュニティというのは、新しくエコタウンを作って自給自足の町にするのか。既存の地区をエコタウンとして自給自足の町を作っていくのか。</p> |
| <p>企業誘致推進課長</p> | <p>新しい所に作っていく場合には、新たなエコタウンとなる。既存の所は太陽光パネルを使って、停電等が起きた場合にも真っ暗にしない方法はなにがあるか、そういうことも考えながらやっていきたい。まだ具体的なものはない。</p> |
| <p>参加者Eさん</p> | <p>エネルギー作りは、これからのまちづくりの根幹です。そうなった時、住む側の役割はどういう物があるか、行政の役割、議会はどのような役割があるかによって、エネルギーをどう使うかが決まってくる。私たちに出来ることは、太陽光パネルに補助金を出してくれるなら屋根に設置し、出来るだけ省エネに沿ったリフォームにしようかなど、町民としてのエコタウンという大きなスローガンに沿った取り組みが出来る。それを制度化してくれるのが行政である。その時に、エコ通貨とかがうまく循環できたら凄くいいものが出来ると思う。そのための、議会促進がとても難しい。これだけ豊かで便利になっていくと、不安におびえる生活はいやだという人が沢山いる。エコタウンのまちづくりは、賛成である。持続可能な社会づくりのため、私たち世代は、それを支援したり普及したりお手伝いしたりする義務があるような気がする。より具体的に私たちの生活のレベルでエコタウンを進展させて欲しい。</p> |
| <p>企業誘致推進課長</p> | <p>現在町では、健康づくりの中で、チャレンジポイント制度を推進している。これをもう少し拡大して、地域コミュニティとか省エネとかを広めて、エコ通貨を利用して、エコポイントが貯まればそのポイントを利用できるような仕組みづくりを行いたい。これにより地域が活性化する。町長はこのようなスタイルが良いと考えており、こういった仕組みがないとエコタウンは進展しない。 今は検討の段階である。</p> |
| <p>参加者Eさん</p> | <p>今の段階で、どのように私たちが、アクション、行動を起していけば、より速く推進できるのか。エコタウン寄居の新しい旗、誰が見てもわかる旗が、もう少し具体的にわかれば、誰が見上げてても方向がわかる。そういった意味で、エコ通貨は面白いなという感じがする。エコとうまくつなげたなと思う。もう少し時間が必要だと思うが。</p> |

町長

電力の供給のあり方について、今、日本社会で言われているのは、企業が利益をあげるために、エネルギーのソースが脱原発であればいいのか、買取価格はいくらが良いのか、そういう単純化乗換えの話で、それ以外のスキームがない。

このような状況でエコ通貨の仕組みはライフスタイルをエコロジカルにして行くという取り組みである。寄居の提案では地域コミュニティの様々な課題解決のために、エコ通貨がその橋渡しを出来るのではないかとということである。それでは、エコ通貨が実質的に成り立つようにするには、それを回転させるための資金をどう供給していくのかという問題がある。例えば単純に現金を寄付してくれたり、ボランティア活動の一つの価値をエコ通貨の原資に寄付してもらうなど色々な方策があると思う。エコ通貨を切り盛りするための組織立てがどうあったらいいのかなど検討する必要がある。

一方で、エネルギーの供給について日本では、ある一定の地域ごとに、電力会社があったりして、非常に単一化してしまっている。もう一度地産地消に引き戻し、自然エネルギーに移行していくことが望ましいと誰もが思っている。そのスキームについて、政府と企業と既存の電力会社だけで決めていることに対して、地域の側から新しいアイデアを出してゆく可能性が実はある。行田市が太陽光パネルを広く普及させようと、補助金を交付しているが、その脈絡はその構造を変えるものではない。

例えば、三ヶ山で県が公募しようとしているメガソーラー発電も事業主体は単純に考えれば新たに参入する事業体、企業体といった固定的なものになってしまう。しかし、コミュニティビジネスという言葉があるように、地元関連企業が参画したり、町民で意欲のある人がNPOで参画したりして、その主体が、10年20年の中でベースとなる事業利益を元にこういうテーマの解決のために係わることを考えても良い。それには、企業の技術も必要である。

また、買取制度のあり方について、国は、企業がやるということを前提で考えているので、実はきめ細かな地産地消を許してやろうという考えで方ではない。であれば、こちらから提案することに対して、特区で地域の自治体全体が取り組む、そして様々な関連の事業が営利ベースではなく営める事をやらせてみようとか、それには買取制度をそのゾーンだけは補償しようとか、一定の経済性を確保しながら、社会貢献度を高めるなど、新しい枠組みが必要となる。このような考え方について、寄居として最善な方法をケースを分けながら検討しているところである。そうした中で町民の皆さんに参画していただける状況につなげていきたい。

私は、立場を超えて、世代を超えて新たな社会状況を生み出していく仕組みが必要だと考えている。新年度は2つのNPO法人を行政がリードして設立する。新しい観光の魅力をリードするには、行政の出来る枠組みでは限定されるので、もっと踏み込んだ仕組みということでNPO法人を設立する。農業分野においても寄居の色々な物産についてブランド化をしたり、遊休農地を解消したりするためにもNPO法人を設立する。

このように、皆さんに係わりやすい諸状況を生み出そうとしている段階である。今後県とも協議しながら、一つの社会モデルのあり方として、チャレンジングな試みをしていきたい。「寄居だから出来るね、都心のスマートタウン開発で話題にな

| | |
|---------------|---|
| <p>参加者Eさん</p> | <p>っているところでは出来ないね」といった話も各方面からいただいている。今後、寄居モデルがうまく展開すると、全国でも自然エネルギーの供給のあり方が一気に早回しされ、脱原発が早まる可能性もある。そして、皆さんにも参画していただけるような新しい地域活性化のモデルが生まれるかもしれない。</p> <p>私たちは60過ぎの老夫婦とペットが1匹だけの生活であるが、福島からの巨大な電力に、なぜ高額なお金を払わなければいけないのかという疑問がある。今、町長さんが言った地産地消だと老夫婦が使う年間の電気のキロ数はたかがしれている。寄居町の太陽光で発電している工場と契約して、よりよい静かなライフスタイルをおくれる。電力の自由化によって電力を自由に選べる、そしてそれに対して責任をもつ。</p> <p>こういう大きな構想の中でのエコタウンとなるとこれは東京の仲間たちを呼んで寄居町はいいぞと言いたい。そういうブランド力にもなるという自分の思いがある。それに係わる自分たちの役割は何かなと思う。エコタウンについては、すごく期待をしている。是非、いい形にしてもらえたらと思う。それには私たちがどうしたらいいのか言っていたら、できる範囲でお手伝いしようかなと思っている。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Fさん</p> | <p>エコタウンについては大賛成である。ソーラーの発電だけでなく寄居には隠れた莫大なエネルギーがあるのではないかとずっと気になっていた。検討されたことがすでにあるのではないかと思うが、木質ペレットである。岐阜県かどこかで県をあげてやっている所があったと思うが、間伐材をつかって、おがくずとワックスを混ぜて凝縮し、効率のよい燃料ができる。間伐を使用するので雇用もうまれる。使いようによってはかなり環境にもよいものになる。そんなに費用はかからないので町全体を挙げて動き出したら良い。相当なエネルギーが埋もれているのではないかと思う。</p> <p>私も男衾自然公園で木を伐採している。凄い量の木が出ている。東秩父などでも相当の量の木が埋もれている。これが使えたら凄いエネルギーが生まれるのではないかと思う。何かの機会に検討してもらえたらと思う。里山は荒れ放題。昔は燃料に使われていた。日本の気候風土では、15年から20年で木が再生する。今はジャングルで活かされていない。里山をうまく利用しながら、世界に誇れるまちづくりが出来るのではないか。出来れば、英文にして発表し、海外から評価してもらえれば良いと思う。そんな夢も持っている。検討していただければと思う。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Gさん</p> | <p>エコタウン計画が、太陽光を利用した新しい時代に沿ったもので良かったなと思う。県のエコタウン候補地の決定はこれからのようであるが、他の4市と比較すると、寄居が一步先んじているので、このままエコタウンに指定されれば良いなと思</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>う。エコタウンの事、一般家庭の事、エコ通貨のことが結びつかない所があるので、町の考えを聞きたい。</p> <p>現実的に一般の家庭で今悩んでいることは、太陽光パネルを設置しようか、どうしようか悩んでいる人が多い。国と県と町の補助、それから太陽光発電促進付加金が太陽光の援助にまわるなど、このような手厚い制度は他にないと思う。</p> <p>国と県と町と企業の補助制度等については、利用しないともったいないというように考える人が多い。しかし、太陽光パネルの設置にあたっては、相当な資金が必要になるので、その点についてかなり悩んでいる人がいる。県のエコタウンに指定されたら、何かさらに補助的なものがあるのではないかと待っている人もいる。寄居町として、県のメガソーラーまたエコ通貨を結びつけて構造的に推し進めるそういう体制について一般の方に見える形で提案して欲しい。</p> <p>エコ通貨のことについては、PR活動をかなりしないと理解できないと思う。NPOの活動についても、かなり一般の方にはわかりづらい。太陽光というと国民全体に関心があるので、PRについても知恵をだしあってやっていけたらと思う。太陽光パネルの技術革新が進み、今の2倍3倍の発電量になれば、みんな設置すると思う。今はまだ発電の力が弱いと思われる。日本の技術革新が進むことによって世界中をリードできる状況になるとと思われる。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Dさん</p> | <p>県のエコタウンプロジェクトに応募したということも含めて、太陽光がメインになっている。他の電源についても広く目を向けていただきたい。もう一つは新聞などで秩父市もエコタウン計画で名乗りを上げていて、秩父市では具体的に木質バイオマス発電所がすでに稼働しているとか、てんぷら油を集めて利用するバイオディーゼルをやっているとかそういうことが出ているが、埼玉県内でも色々な試みをやっている自治体があると思うので、ぜひ横のつながりで知恵を集めるということもやっていただけたらと思う。去年6月に、3・11を受けて、日高市は「自然エネルギー推進の街宣言」について請願を採択した。具体的に市民と行政が一体となって試みをしているようなのでそういうことも含めて、出来ればそういう宣言をしていただいて、県内の色々な自治体が協働して進めていくような形が出来ればいいなと思っている。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Cさん</p> | <p>県のエコタウン募集に13自治体の申請があり、すでに5市町に絞られていて、その結果が4月の中旬にでるという話である。そこで寄居町は、候補地に絞られているので何かをやっていこうということなのか。</p> |
| <p>企業誘致推進課長</p> | <p>13の自治体が、自分のところのアイデアを出した。そのうちの二つ三つを県は選定したいと言っている。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>参加者Cさん</p> | <p>既に研究会が発足して動いているので、町民から色々意見を聞いても聞くに過ぎないことである。実際に専門家が進めているのだから、寄居町としては、あちこちで色々言っている間に、率先して進めたら良いのではないか。八方美人では進まない。3・11の震災があり、その時に、被災地への支援の受付や方法等について社会福祉協議会に電話をしたら、「前例がありません」という返事が帰ってきた。役場の総務課に電話しても同じような対応であった。福島が雪の中で大変な思いをしているのだから素早い対応をすれば、かわせみ荘で被災者を受け入れることも出来た。</p> <p>研究会の中ではいい案が出ていると思うので進めて、寄居町はどんどん進めて欲しいと私は思います。各市町村が横並びでなくていいと思う。だらだらでなく、どんどん進めてもらいたい。</p> <p>また、三ヶ山のほかにメガソーラーを設置できる場所はないのか。</p> |
| <p>都市計画課長</p> | <p>平らな土地で、それだけ広大な面積のところはない。</p> |
| <p>参加者Cさん</p> | <p>寄居町でメガソーラーを設置できる所を作ればよい。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>他にご意見は。</p> |
| <p>参加者Bさん</p> | <p>構想の表現にカタカナが多すぎる。もう少し解りやすい表現に出来ないか。中心概念がわかりにくい。エネルギーの地産地消について絞るべき。そこから膨らませていくことが良い。何が中心なのかわからない。</p> |
| <p>町長</p> | <p>この機会に皆さんに申し上げたいことがある。</p> <p>寄居町は地域特性が豊かで、山間地のある折原とか、中心市街地の商店街とか、町全体について、それぞれの地域に魅力がある。しかし、町の共通意識が希薄になっている。地域が繋がっていかないと色々な諸状況が正しい方向に前進していかない。現在、商工会の青年部が大きな広がりを見せている。青年部の会員が増えている。昨年2回夕焼けマルシェという会を、中心市街地の後継者だけでなく、他の地域の後継者も一緒になって開催した。既存の仕組みの中で、例えば、区長にも大変なご尽力をいただいている。しかしもう少し前進していただいて、踏み込んだ関わり方を持ってもらいたい。広報・回覧・ホームページ等、限定された道具しかないが、今日のように積極的に関わってもらいたい。今後ご協力を頂きたい。</p> |
| <p>参加者Cさん</p> | <p>企業誘致推進課長に聞きたい。ホンダが来るが子会社が町に進出していない。町がまとめてくれれば進出すると言っている企業もあるが。</p> |
| <p>企業誘致推進課長</p> | <p>農地には農振法という法律がある。これがネックになっている部分もある。</p> |
| <p>参加者Cさん</p> | <p>「ここなら」と、紹介されたところは土地の条件が悪いようである。</p> |

